

SSI 工法準拠(改訂)

簡易防錆法

(Simplified Corrosion Preventive Method)

日常点検時の応急処置に最適な防錆処理！！

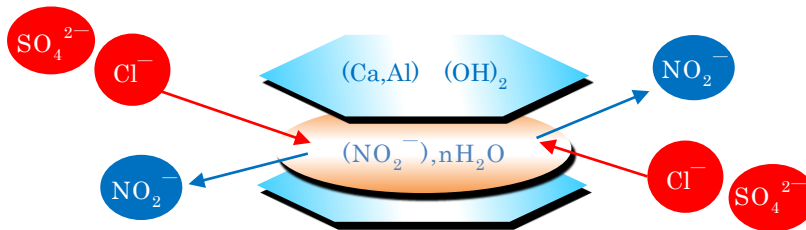
簡易防錆法は、塩分吸着剤を活用した SSI 工法の考え方をベースに、露出鉄筋に対して応急的な小断面欠損修復型の補修法です。

コンクリート構造物・建築物・電柱などの露出鉄筋を防錆化し、併せて遮塩性を付与した修復材により、手軽な防錆処理を可能にしました。



特長

- 本法は **防錆スプレー** と修復用の **手もみモルタル*** の施工を原則とします。
(*手もみモルタルを使用しない場合は、**保護スプレー** を施工します)
- 防錆スプレーに含まれる塩分吸着剤が鉄筋の腐食を抑制します。
- 手もみモルタルに含まれる塩分吸着剤が塩分などの浸入を抑制します。



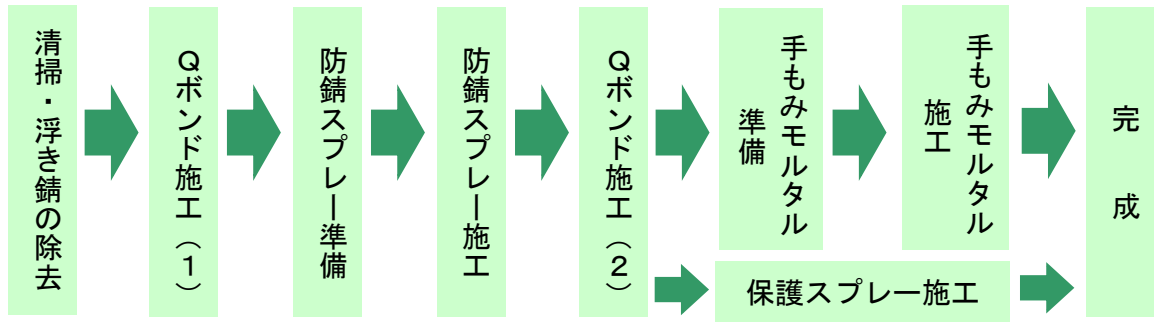
塩分吸着メカニズム

基本物性

(数値：屋内での試験値)

	防錆スプレー	手もみモルタル
圧縮強度	—	25~30 N/mm ²
付着強度	1.5 N/mm ² 程度(鋼板下地)	1.5 N/mm ² 程度(建研式)
防錆性・遮塩性	SSI 工法用防錆ペーストと同等	SSI 工法用遮塩モルタルと同等
施工可能面積	約 0.5m ² /本(t=2~3mm)	約 0.03m ² /袋(t=10mm)

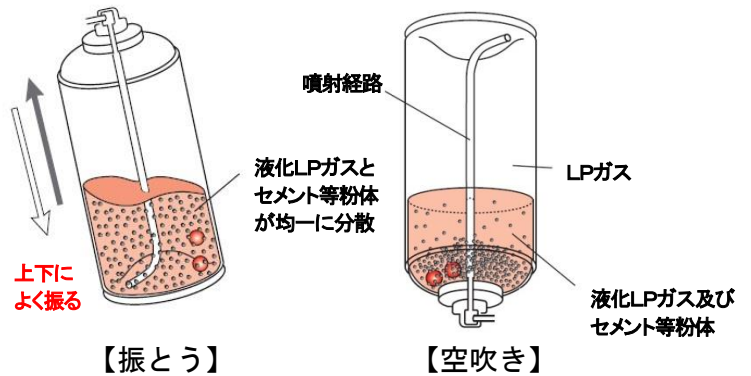
施工要領



■ 防錆スプレー準備・施工上の注意

★ 防錆スプレーの使用前後には、付着力確保と防錆材安定化のため、必ず「Qボンド」を施工してください。

- (1) 缶を上下によく振り、「カラカラ」と音がすることを確認する。
- (2) 更に上下に20回程度振とうして、スプレーを開始する。
- (3) 一時的に作業を中断した場合は、上記の操作を繰り返す。
- (4) 使用を一旦終了した場合は、逆さにして2秒程度空吹きし噴射経路を空にしておく。



■ 手もみモルタル準備・施工上の注意

- (1) 粉体を液体側へ押し出すように粉体側から力を加えて、中央の仕切りを破壊させる。
- (2) 粉体と液体を手でよく揉み、粘性が確認されたら粉体側端部の切込み（■印の箇所）を適度に切り開いてモルタルを押し出す。
- (3) 付着力を確保するため、施工面は必ず湿潤状態にしてモルタルを施工してください。

* 手もみモルタルで修復しない場合は、仕上げに**保護スプレー**を使用してください。

保護スプレーはアクリル樹脂塗料のため、防錆スプレーとQボンドを使用後、2～3時間以上を経て表面の乾燥を確認してから使用してください。

製品荷姿



防錆スプレー(260ml/缶)
& Qボンド(100ml/缶)



手もみモルタル(500g/袋)
(比重 約 1.55kg/L)



保護スプレー(300ml/缶)